

会員増強運動実施中

なつかしの国 石見

2026

おおだ

No. 483

会議所ニュース

10

大田商工会議所

〒694-0064

島根県大田市大田町

大田イ309番地2

TEL(0854)82-0765

FAX(0854)82-2993

毎月1日発行

<https://www.ohdacci.com>

E-mail ohdacci@ohdacci.com



今月号は「金山姫銀山勧請（かなやまひめ ぎんざんかんじょう）」です。

この神楽は、土江子ども神楽団が石見銀山の世界遺産登録を記念して創作したオリジナルの演目です。

石見銀山の争いを憂えた大内氏は、大蔵大輔（おおくらたいふ）に安寧と繁栄を命じます。大蔵大輔は夢のお告げに従い、金山師と共に鉾山神・金山姫命と金山彦命を勧請する旅に出発。途中、大嶺（おおやまかがち）蛇に毒を盛られ黄金の国をさまようも、物部神社の神に救われ「十種の神宝」を授かります。鬼神との戦いでは神宝の力で妖術を破り、比礼振山の佐毘売山神社で幣帛を授かり、石見銀山へ帰還する物語です。

— 主な内容 —

- ・日本商工会議所通常会員総会開催
おおだ秋の彼岸市開催
- ・会員訪問記 イキ活きと商い中！
(株)石見観光 大田営業所



大田商工会議所HP

日本商工会議所通常会員総会

デフレ時代から脱却し、
「成長型経済」の実現に向けた正念場

9月17日、日本商工会議所（小林健会頭）は、標記会員総会を開催しました。冒頭、小林会頭から『未来への「投資」と持続的な「賃上げ」を生み出す力強い経済への移行を確かなものとするため、政府・中小企業・地域が一丸となって取り組む必要があります。』と挨拶がありました。

議事では、2025年度の事業報告と収支決算について承認されました。

以下は事業報告の抜粋です。

中小企業の人手不足への対応と「稼ぐ力」の強化

1. 持続的な賃上げの原資確保に向けた支援
2. デジタル化・DX支援
3. 産業人材の育成・リスキリングの推進
4. 多様な人材の活躍推進・多様で柔軟な働き方の実現

人と企業が輝く地域の創造

1. 地域に人と投資を呼び込む地域ブランディング、観光地域づくりの推進
2. 国土強靱化・社会基盤整備の推進
3. 民間起点による公民共創まちづくり、都市再生に向けた取組みの推進
4. 令和6年度能登半島地震、奥能登

商工会議所機能の強化

1. 対話を重視した「現場主義」「双方向主義」の継続・発展
2. 変化に対応できる商工会議所職員の人材育成・確保
3. 組織・財政基盤の強化
4. 各地商工会議所におけるデジタル化の推進
5. 商工会議所のプレゼンス強化

5. 中小企業・小規模事業者の自己変革への挑戦とビジネス環境整備の推進
6. 中小企業の挑戦を促す海外展開支援
7. 経済の成長と環境の両立を実現するエネルギー・環境政策の確立

豪雨への復興支援

5. 東日本大震災からの「復興・創生」の推進と福島再生への支援
6. 大阪・関西万博をはじめとする国際的ビッグイベントによる経済効果の地域への波及

島根県・鳥取県選出国會議員表敬訪問及び意見交換会を開催
～石見4市商工会議所会頭会議として初めての企画～

9月17日に開催された日本商工会議所第143回通常会員総会にあわせ上京し、前日の16日、島根県・鳥取県選出国會議員への表敬訪問にあわせて、石見4市商工会議所会頭会議としては初めての企画となる意見交換会を行いました。この企画は、島根県はもとより石見地域経済の発展及び地域活性化に向けて、石見4市商工会議所が一丸となって取り組んでいくことの発信と良好な関係を築くことを目的としたものです。

表敬訪問では、各商工会議所会頭からそれぞれ地域の現状、課題を伝える

とともに、石見地域の発展にご尽力いただきたい旨の発言に対し、各議員からは課題解決に向けてしっかりと取り組んでいく旨の言葉をいただきました。

意見交換会には、青木一彦参議院議員をはじめ、出川桃子参議院議員、高見康裕衆議院議員、舞立昇治参議院



議員、藤井一博参議院議員ご出席のもと（高階恵美子衆議院議員は表敬訪問のみ）、各商工会議所副会頭も加わった総勢22名で、お酒を酌み交わしながらそれぞれ親しく会話することができました。今後この活動を継続し、具体的な要望活動につなげていきたいと考えています。

※石見4市商工会議所会頭会議・・・

石見地域の共通課題を共有し、地域経済の発展につなげることを目的に、年に2回の頻度で石見4市の会頭が顔を合わせて意見交換する会議

おおだ秋の彼岸市

—9月22・23日—

大変良い天気で、多くの人出で賑わいました。



▶ 植木・苗木市



◀ ふるさと市
女性会コーナー



▶ 青年部コーナー
射的



◀ 銀☆GIN
よさこい秋市



山陰自動車道建設促進 島根県民総決起大会を開催

9月19日、「江津市総合市民センター」において標記大会が開催されました。

この大会は、山陰自動車道（安来ー益田）建設促進期成同盟会（会長 山本浩章益田市長）が主催し、県内各市を会場に、年1回開催されています。

県内の山陰道においては、前年度末には共用率が85%となり、工事が遅れていた鎌手ICも8月には完成し、県内の全線開通が大きく近づいています。一方で、県西部にミッシングリンクが

残ることで、県西部と東部・山陽・九州方面とのネットワーク効果や、物流・観光などのストック効果が十分に発現しきれていない状況です。

当日は、県内各自治体・団体から約430人が集まり、山陰道の未事業化区間の早期事業化と事業化区間の着実な事業推進を訴えました。

大会の最後には、飯塚俊之出雲市長が大会決議案を読み上げ、参加者の賛同をもって国へ提出されることとなりました。また、山陰道の早期整備を強力に進めていくため、参加者全員で「ガンバロウ三唱」を行い、大会を締めくくりました。

会員共済制度

『商工会議所福祉制度』キャンペーン実施のお知らせ

ベストウイズクラブでは、「福祉制度キャンペーン」を10月1日から11月30日まで実施いたします。本キャンペーンは、『商工会議所福祉制度』を会員の皆様にご理解いただき、会員事業所の福祉向上にお役立ていただくことを主な目的としています。

『商工会議所福祉制度』は、経営者・役員の皆様の保障や退職金準備他、入院・介護・老後に備えた様々な保障ニーズにお応えするものです。

商工会議所職員とアクサ生命保険株式会社の担当社員がお伺いした際には、是非ご協力いただきますようお願い申し上げます。

※「ベストウイズクラブ」は、商工会議所共済制度・福祉制度の普及・推進を目的とし全国各地の商工会議所およびアクサ生命保険株式会社により運営されている組織です。



中小企業
あるある相談室

「売り上げ至上主義」が会社を苦しめる——逆ザヤを生む営業評価制度

中小企業診断士 秋島 一雄

「売り上げは増えているのに、なぜか利益が残らない」

これは中小企業支援の現場で、非常によく耳にする悩みです。決算書を見ると、売上高は前年より伸びている。

しかし、利益はほとんど出ていない、あるいは赤字になっている。こうした企業では、実は「逆ザヤ」の受注が常態化しているケースが少なくありません。

逆ザヤとは、簡単に言えば「売れば

売るほど利益が減る状態」です。本来、仕事は利益を生み出すために受注するものですが、原価より安い価格で受注してしまえば、忙しくなっても会社にはお金が残りません。

では、なぜ逆ザヤが起きるのでしょうか。材料費や人件費、外注費、輸送費などを正確に把握できていないため、「利益が出ているつもり」で受注してしまうのです。特に昨今は、原材料高や人件費上昇が急激に進んでおり、昔

の感覚のまま価格を決めていると、気付かないうちに赤字案件になっていることもあります。

しかし私は、それ以上に大きな問題は、「営業成績の評価が売り上げ中心になっていること」だと感じています。多くの企業では、営業担当者は「いくら売ったか」で評価されます。すると営業現場では、「利益率が低くてもとにかく受注を増やそう」という行動になりがちです。

つまり、逆ザヤは営業担当者個人の問題ではなく、会社の仕組みの問題なのです。だからこそ、収益改善の第一歩は、「逆ザヤ受注をやめること」で

す。そして、そのためには評価制度を変えなければなりません。売り上げだけでなく、「粗利額」や「利益率」も含めて評価すること、あるいは、「安売りをしない営業」を正當に評価するなどの仕組みづくりが必要です。

経営において本當に大切なのは、「どれだけ売ったか」ではなく、「どれだけ利益を残したか」だからです。忙しいのにもうからない会社ほど、まず見直すべきは「売り上げ」ではなく、評価制度であり、「利益の出しっぱなし」を続けているかどうかの再確認なのかもしれません。（抜粋）



「薬剤師の『マウス文化』に寄り添う、現場発の薬歴DX」

中小企業のための
DX事例
PWCコンサルティング会社 PWC Intelligence シニアマネージャー 大川 真史

今回は、生成AIで薬歴作成を効率化した医療IT業の事例です。薬歴は、薬の使い方など患者に説明した内容や体調、薬剤師の判断などを残す重要な記録です。調剤報酬の請求にも関わるため、省くことはできません。

茨城県つくば市にある株式会社ロジロジは、薬剤師が患者との対話に集中できる環境づくりを進めています。代表の山口洋介氏は以前、薬剤師として薬局の現場に立ち、服薬指導後も薬歴の作成に追われる日々を経験しました。

薬剤師は月に約24時間、勤務3日分に相当する時間を薬歴作成に費やしているといえます。山口氏も負担を感じていましたが、長年続く業務だけに、仕方のない仕事として受け入れていました。

転機は生成AIの登場でした。処方情報と患者との会話を組み合わせれば、薬歴の下書きをつくれるのではないかと、新しい技術に触れたことで、当たり前だった業務が「解決できる課題」に変わったのです。

同社が開発する薬歴入力支援システムでは、処方内容や前回の薬歴を基に、今回確認すべき事項をあらかじめ表示します。患者との対話を録音し、服薬指導後には、会話を整理した薬歴の下書きをAIが作成します。薬剤師はメモを取りながら話したり、記録を一旦ら考えたりする負担が減り、患者に意識を向けやすくなります。

ただし、薬局で使われる電子薬歴のシステムはメーカーごとに仕様が異なり、新しいシステムとの連携は容易ではありません。全てを入れ替えれば費用がかかり、操作を覚え直す負担も生じます。そこで同社は、既存システム

を残したまま、作成した薬歴を画面上の所定の欄へ自動で転記する仕組みを開発しました。

薬剤師経験を持つ山口氏は、実際の業務の流れを起点に開発を進めました。この事例が表すのは、DXでは新しい技術だけでなく、既存の設備や現場の習慣を尊重することが重要だという点です。全てを一度に変えるのではなく、負担の大きい部分から改善していく。働く人が自然に使える形にするのが、中小企業のDXを定着させる鍵になります。（抜粋）



(株)石見観光 大田営業所

大田町の(株)石見観光
大田営業所(山下英治常
務取締役所長)は、大田
市駅前にある国内・海外
旅行を扱う会社です。

会 員
訪 問 記

イ
キ
活
き
と
商
い
中
!

Vol.139

当社は第1種旅行者です

昭和31年に国内旅行を取扱う第2種
旅行者として設立し70年余り、地域
の旅行をお手伝いしてまいりました。
本年5月、海外旅行の募集が出来る、
第1種旅行者の登録取得をしました。
団体旅行の各種手配、特選ツアー
(日本語・英語)、旅行のさまざまな
ニーズに応え、思い出に残るような旅
の体験を提供しています。国内はもと
より、これからは海外旅行も多くご案
内してまいります。

旅でこそ味わえる楽しさを伝えたい

地元高校卒業後、観光専門学校でツ
アーコンダクターとなるべく学びまし
た。卒業後は旅行会社やその他で経験
を積み、縁あって令和2年より当社に
入社しました。現在私を含め4人で営
業しています。

当社は、浜田市、益田市にも拠点が
あり、地域に根ざしてきた会社です。
海外旅行の募集ができるようになり、
「美しい季節を、旅しよう 秋旅・冬
旅 特選ツアー」と銘打ったツアーを
多数募集しています。第1弾はチェジ
ュ航空で行く韓国ソウル3日間でした
が、これは締め切りとなりました。第

2弾は台湾(台北)4日間の旅の案
内をしています。締め切りは11月2日
(月)までです。こちらは私が添乗員です。
台湾最大の「士林(シーリン)夜市」
の賑わいを、ぜひご体感いただきたい
です。

社員旅行を企画してみませんか

働き方の変化やコロナ禍があり、社
員旅行をされる会社が少なくなりまし
た。相互理解を育み、結束を生むこと
が出来る「旅行」は、福利厚生のみだ
けでなく、それぞれの立場を超えて人
同士が交流できる、何ものにも代えが
たい価値があると思います。行かれた
方は、「行って良かった、楽しかった」
と、ほとんどの方が言われます。

最近のスタイルは、宿泊を相部屋で
はなく個室に、自由時間を多めにとる
などで企画されます。日帰り旅行も行
先は沢山ありますのでお尋ねください。

PRをどうぞ!

旅行の目的は多様化しています。窓
口でも電話でも、会話をしながらニ
ーズを聞き取り、ベストな提案と準備を
整えることが、当社の良さだと思いま
す。

夢の世界への扉は当社にあります。
社員旅行、自治会旅行、サークル仲間
の旅行など多人数の旅行のみならず、
ひとり旅のご提案などもできますので、

まずはお気
軽にご相談
ください。

ツアー情
報や申込は
公式LINE
E登録でも
受け付けて
います。

今後とも
石見観光を
よろしくお
願いたし
ます。

【社員募集】

私たちと一緒に働いてくれる社員を
募集しています。ツアーコンダクター
として働いてみませんか。



LINE



インスタグラム

住 所…大田町大田イ701-3

電話番号…82-0663

営業時間…月～金曜日

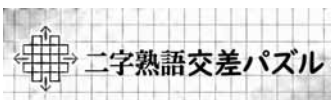
8:50～17:30

土曜日

8:50～12:10

定休日…日曜・祝日

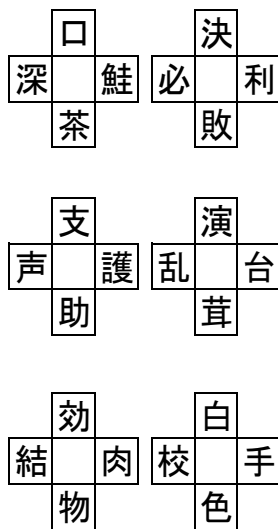




上下、左右それぞれ漢字2字の言葉ができるように、リストから漢字を当てはめてください。最後に、リストに残った漢字を組み合わせることができる3字熟語を答えてください。

リスト

勝	会	旗
果	援	動
運	舞	紅



労働保険の加入手続きはお済みですか！

一人でも労働者を雇用していれば、労働保険に加入する必要があります。

労働保険とは労災保険と雇用保険を総称したもので、政府が管掌する強制保険制度です。

労災保険…

従業員の方が業務中や通勤途上に事故にあった場合に、必要な保険給付を行い、被災された方や遺族の方の生活を保護し、あわせて社会復帰を促進する事業を行うための保険制度です。

雇用保険…

従業員の方が失業した場合に、失業手当を給付したり再就職を促進する事業を行うための保険制度です。また、事業主の方へは、失業の予防、雇用機会の増大、雇用の安定等に係る各種助成金制度が設けられています。

★労働保険に関する事務手続等は、労働保険事務組合や社会保険労務士に委託することもできます。

お問い合わせ先

島根労働局 労働保険徴収室
TEL 0852-20-7010

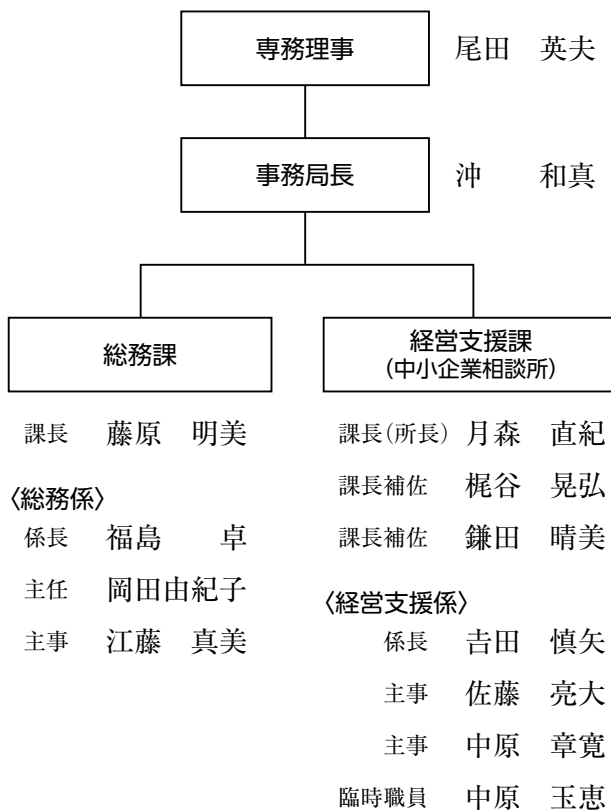
退職のごあいさつ

秦 真喜子

この度、九月末日をもちまして大田商工会議所を退職いたしました。在職中は皆様方には公私ともに大変お世話になりました。ここに謹んで厚くお礼と感謝の意を申し上げます。今後とも会議所で得た経験を活かし、頑張っていきたいと思っております。皆様方のご健勝と今後益々ご活躍をされますことをご祈念いたしまして、お礼の挨拶とさせていただきます。

令和8年度 大田商工会議所事務局組織図

令和8年10月1日より



石見銀山から世界へ…

義肢・装具・人工乳房・医療器具



ISO9001(品質) ISO14001(環境)認証取得



世界遺産 石見銀山

中村ブレイス株式会社

代表取締役 中村 宣郎

本社/〒694-0305 島根県大田市大森町ハ132
TEL(0854)89-0231(代) FAX(0854)89-0018
<http://www.nakamura-brace.co.jp>

大あなごフェス IN ごいせ仁摩



大あなごグルメコーナー
アナゴのつかみ取り大会
パトカー展示

日時 11月7日(土) 午前10時～午後3時

場所 道の駅ごいせ仁摩

「大田の大あなご」を堪能できるフェスティバルを開催します。市内店舗が出店する大あなごグルメコーナーやイベントが盛りだくさん！ぜひお越し下さい！！

イベントスケジュール

- 10:30～ アナゴ解体ショー
- 11:20～ アナゴつかみ取り大会
- 12:00～ 大あなご音頭
- 12:30～ 豪華賞品が貰える！大あなごクイズ大会
- 13:30～ 土江子ども神楽団
大蛇／恵比寿（特別バージョン）

※変更になる可能性もありますので、HPで最新情報をご確認下さい。

主催：大田商工会議所・大田市

問い合わせ 82-0765(当所ホームページで詳細や情報更新を行います)



発 明 相 談

日時 10月20日(火)
午後1時

場所 大田商工会議所
※要予約

検定試験案内

〈簿 記〉

試験日…11月15日(日)
申込み締切…10月19日(月)

秋 ら ら ら
フェスティバル

大田のあの店この店大集合！

日時 11月23日(月:祝)
10:00～15:00

場所 大田商工会議所

内容 屋外:飲食等 27店
屋内:雑貨、菓子、
ワークショップ等 24店

イベント 吹奏楽・ものまね・
よさこい・大あなご音頭・
琴演奏他

問合せ先 大田商工会議所女性会
82-0765

大田市
商工優良従業員表彰
推薦受付中！

日 時 11月24日(火) 10時
会 場 大田商工会議所
負担金 8,000 円／1 名
(記念品含む)

お申し込みはお早めに
お願いします。

島根県最低賃金改正のお知らせ

島根県内の事業場で雇用されるすべての労働者に適用される島根県最低賃金が次の通り改正されます。

時間給 1,092 円

(令和 8 年10月10日改正)

詳細につきましては、島根労働局労働基準部賃金室(TEL 0852-31-1158)又は最寄りの労働基準監督署までお問い合わせ下さい。

二字熟語
交差パズル答え

口	決
深	必
紅	勝
鮭	利
茶	敗
支	演
声	乱
援	舞
助	台
効	白
結	校
果	旗
肉	手
物	色

答え：運動会

リスト 会 動 運

会議所ニュース企業広告募集
1/4ページ 5,000円

詳しくは、当所会議所ニュース編集委員まで、お問合せ下さい。

後 記

▼4月に部署移動があり、あつという間に半年が経ちました。最初は新しい仕事を覚えることが大変で、「あと5年若ければ」と思う日々でしたが、段々と分かることが増えてきました。

今月はさらに人事異動があり、仕事内容も増えました。まだまだ覚えることがたくさんありますが、少しずつステップアップしていけるように頑張っています。

▼2018年に広報担当になって以来、この後記が102回目となったところですが、退職のためバトンタッチをします。記事を書く経験がなく、つたない文章を先輩に直してもらいながら、何とか校了出来た日々でした。

様々な記事を担当し、多くの方にお話を聞く機会をいただきましたことに感謝いたします。これからも所報の情報発信にご期待ください。

▼今月号に折込みしている「みんなチャレ」のアプリを活用しています。

当初、万歩計の代わりにと思い、気軽に5人のチームを組んで取り組んでいるのですが、私は思いのほか歩いていないことが目に見えて分かり、少し焦っています。

彼岸市の日、さすがに1万歩を超えましたが、アプリに囚われすぎず、チャレンジしていきたいと思っています。